実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
南島原市	馬場地区（馬場集落）	平成25年7月	令和3年3月

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	49.0　ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	34.5　ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	4.6　ha
ｉ　うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	3.9　ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.7　ha
（備考）	

2　対象地区の課題

アンケート結果によると、深江町の縮小・離農したい耕作面積が18．78haに対し、拡大したい中心経営体の意向面積が14．1haと若干少ないため、中心経営体の更なる規模拡大が望まれる。
馬場地区は、市内の他の地区と比較して、後継者の見込が多く基盤整備も進んでいる。害獣被害も少なく日当たりが良く地区内の担い手で農地の維持ができている。その一方で、農地の集約が進んでいない面があり、耕作者・作物がばらけている現状がある。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地中間管理機構を活用し農地集約を進め、耕作者にとって経営のやりやすい環境づくりを行う。
農地の集約に併せて、大型機械の導入を行い農業の効率化も検討する。

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

圃場条件が良く、地区内での担い手が確保されているため、農地中間管理事業の活用は全体的に少ないが、将来的には集約化が必要であり、そのためにも農地中間管理事業の活用を推進していく。